

平成26年度 第3回豊山町子ども・子育て会議議事録

1 開催日時 平成26年12月17日(水) 午後2時00分～午後3時15分

2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室5

3 出席者 委員

社会福祉協議会代表	井上 博司(会長)
民生委員協議会代表	中村 里美
子ども会連絡協議会代表	安藤 弘治
保育園父母の会代表	横井久美子
ゆめっこクラブ代表	岡島千衣子
愛知学泉大学 准教授	堀田 裕子
天使幼稚園代表	中山 拓
一般公募	岡島 順子

欠席者 委員

小児科医師	野崎 千佳
母子寡婦福祉協議会代表	鈴木みどり

事務局

福祉課長	小川 淳之
福祉課 課長補佐	高桑 悟
福祉課福祉・少子係 主任	長谷部佑介

4 議題 (1) 第1次豊山町子ども・子育て支援事業計画(素案)について
(2) その他

5 会議資料 資料No.1 第1次豊山町子ども・子育て支援事業計画(素案)

6 議事内容

司会	<p>それでは、ただ今より平成26年度第3回豊山町子ども・子育て会議を開催いたします。私は本日の司会進行をさせていただきます福祉課福祉・少子係の長谷部です。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日、野崎委員、鈴木委員から欠席される旨、連絡をいただいておりますのでご報告申し上げます。</p> <p>開会にあたりまして、井上会長から一言ごあいさつをいただきます。会長よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>師走の大変お忙しい中、第3回子ども・子育て会議にご出席いただきましてありがとうございます。先日は、ノーベル平和賞が世界の子ども達の教育に貢献している、パキスタンの17歳少女マララさんに授与され、喜んでいたにもかかわらず、今朝の報道で学校がテロに襲撃され、多数の子ども達が犠牲になる痛ましい事件が発生しています。</p> <p>今回の会議は、第1次豊山町子ども・子育て支援事業計画策定の検討をしていただくわけですが、これからの豊山町全体で子どもを守り育てるための重要な計画となります。どうか皆さんのお知恵をお借りしたいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。まず、次第が1枚、事前にお送りしました資料No.1「第1次豊山町子ども・子育て支援事業計画（素案）」は、お持ちでしょうか。資料がない場合は、お申し出ください。</p> <p>また、本日の議事内容につきましては、録音させていただき議事録を作成いたします。議事録は、後日、町のホームページに掲載させていただきますが、ご承認いただけますでしょうか。</p> <p>— 「異議なし」 —</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>議事録の内容につきましては、委員の皆様の確認が必要となります。後ほど、会長から「議事録署名委員」が指名されますので、指名されました委員2名と会長の3名の方でご確認していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これより、議題の審議に入ります。会議の進行につきましては、会長の取り回しでお願いいたします。</p>
会長	<p>それではただ今から、議事の進行をさせていただきます。</p> <p>会議録署名委員の指名ですが、安藤委員と中村委員を指名いたします。後日、事務局が本日の会議録に署名に伺いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に沿いまして、議題（1）第1次豊山町子ども・子育て支援事業計画（素案）について、事務局より説明を求めます。</p>
事務局	資料を用いて説明
会 長	説明が終わりました。

	委員の皆様からのご意見・ご質問がありましたら、いただきたいと思 います。いかがでしょうか。
委 員	26 ページ以降にも出てくるのですが、基本目標2 母性並びに乳児及び 幼児等の健康の確保及び増進のところ、どういう意味で母性という言葉 が使われているのか、読んでいて違和感がありました。説明をお願いした いと思います。
事 務 局	国の基本指針で、母性という言葉が使われています。自治体それぞれの 使い方でいいと考えますので、委員がおっしゃられるように違和感があ れば、別の言葉使いを検討したいと思います。
委 員	母親という言葉がわかりやすいような気がします。また、事務局で検 討していただきたいと思います。
委 員	57 ページの「男女が働きやすいセミナーの開催協力」で働きやすいセ ミナーとは、どういうことでしょうか。
事 務 局	言葉が抜けていると思います。働きやすいセミナーでは、意味が通じま せんので、働きやすい職場環境のためのセミナーに修正させていただきます。
委 員	豊山町の意向としては、私立幼稚園を認定子ども園に移行してもらいた い意識や考えはあるのでしょうか。
事 務 局	ニーズ調査から言うと、できるだけ児童を受け入れるところがあれば望 ましいという意向が多いです。ただ、町として私立幼稚園に認定保育園を 具体的にやってほしいという強い要請はできないと思います。
委 員	認定子ども園へ移行するのは、国からの指導でもあるようですが、幼稚 園として一番困っているのは、保護者に対して、説明がうまくできるかど うかということです。認定子ども園になると施設型給付になるので、一律 であった保育料が家庭状況によって変わります。収入がある人にとっては 保育料が上がってしまうので、理解を得られるか悩んでいます。
事 務 局	今のところ、公立保育園の定員からいけば、受け入れが可能ですが、こ れ以上入園希望が増えれば、認定子ども園も考えていかなければと思 います。
会 長	逆に、幼稚園の方は、どうでしょうか。
委 員	幼稚園としては、認定子ども園であると、保育料の問題あるいは、保育 園の機能を持たせるとなると施設の中に、自分たちで調理する給食施設を 設けなければならないことなど、スペースの問題が出てきます。
委 員	認定子ども園になると、色々運営について、解決しなければならないこ とが多く出てくると思います。
委 員	教育についても、独自性が損なわれてしまうことを懸念しています。
委 員	放課後児童クラブですが、今まで1年生から3年生を受け入れていたも のを6年生までにすると、人数や預かる場所の問題はよろしいでしょうか。
事 務 局	実績を見ますと、1年生から3年生の在籍児童数の約30%が放課後児 童クラブに登録されています。そこから6年生までの見込みを出すと概ね

	施設の広さにあった登録は確保でき、また、登録者のうち実際の出席率は、約50パーセントで、4年生以上は、塾に行くとか部活に参加する割合も多くなり、利用者は、単純に今の2倍にはならないとは想定しています。したがって、人数や場所の問題はクリアできると思います。
委員	豊山小学校で行っている放課後子ども教室は、統合されるのでしょうか。
事務局	国の考え方としては、一体型と連携型があり、将来的には同じような形で進むと思います。豊山小学校では空き教室があるので、放課後子ども教室との連携も検討する時期にはきていると思います。
委員	22ページの小学校就学後の過ごしせ方のアンケート結果について、「放課後児童クラブ」の割合が58.5%、「自宅」の割合が46.2%になっており、100%を超えているがどうか。
事務局	重複回答を可能としていますので、100%を超えています。
会長	国の指針があるようで、全体的に回りくどい表現になっているので、もう少し噛み砕いてわかりやすい表現で具体性を持たす方がいいと思います。
委員	10ページで、豊山町の合計特殊出生率は出ていないのでしょうか。
事務局	保健センターの方で数値は出ていますが、保健所の話によりますと、市町村の規模により豊山町は、比較できない数値だということで、表には載せていませんが、一度確認してみます。
会長	質問も終わったようですので、続きまして、議題(2)その他について、事務局よりお願いします。
事務局	今後のスケジュールについてお話をさせていただきます。この素案をもとに、修正を加えながら来年の1月に子ども・子育て支援法に基づく県との協議があります。そのあと、1月下旬から2月の初めに町民の皆さんから町のホームページなどでご意見をいただくパブリックコメントを2週間程度行い、最終案を2月の初旬には作っていきたくと思います。最後に第4回目の子ども・子育て会議を2月に開催して、答申をいただきたいと思いまので、よろしくをお願いします。
会長	説明が終わりました。 他に、この計画以外に委員の皆様からのご意見・ご質問がありましたら、いただきたいと思えます。いかがでしょうか。
会長	ないようですので、これをもちまして平成26年度第3回子ども・子育て会議を終了とさせていただきます。

平成27年1月19日

会長 井上 博司

署名人 安藤 弘治

署名人 中村 里美